



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月9日

上場会社名 株式会社アドバンテッジリスクマネジメント 上場取引所 大
 コード番号 8769 URL http://www.armg.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥越慎二
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 筒井 努 TEL 03-5794-3800
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	635	10.0	35	—	33	—	11	—
24年3月期第1四半期	577	△1.2	△6	—	△10	—	△18	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 10百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △15百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	74.49	70.48
24年3月期第1四半期	△120.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,441	1,154	47.3
24年3月期	2,596	1,153	44.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,154百万円 24年3月期 1,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	180.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,750	9.8	310	43.3	300	45.0	160	72.7	1,017.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	164,867株	24年3月期	163,747株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	6,526株	24年3月期	6,526株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	157,369株	24年3月期1Q	157,221株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期報告書については有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものです。実際の業績は、今後の様々な要因により、予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定等については、[添付資料] P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として企業収益や個人消費に緩やかな回復が見られましたが、欧州債務問題の影響による世界的な経済成長の鈍化、円高の定着や株価低迷の長期化など、先行きの不透明感が払拭されない状況が続いております。

このような経済状況において、当社は、「『安心して働ける環境』と『活力ある個と組織』を共に創る」という経営理念に基づき、精神的な疾患が原因で働けなくなるリスクの軽減と社員の生産性の向上を目的としたメンタルヘルスケアの各種サービスの販売・新サービスの開発や、ポジティブサイドへのアプローチとして「エンゲージメント尺度」に基づいたソリューションの開発を進めたほか、GLTD（団体長期障害所得補償保険）を利用した働けなくなるリスクに対するセーフティネットの導入等に積極的に取り組みました。当期間の売上につきましては、メンタリティマネジメント事業において「アドバンテッジタフネス」「アドバンテッジインサイト」が伸長したほか、就業障がい者支援事業において第4類団体（同一の共通目的をもつ者により組織される会員団体）への本格展開が進展いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は635百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は35百万円（前年同期は営業損失6百万円）、経常利益は33百万円（前年同期は経常損失10百万円）、当期純利益は11百万円（前年同期は当期純損失18百万円）となりました。

報告セグメントの業績は以下の通りです。

(メンタリティマネジメント事業)

従前よりメンタルヘルスケア事業として展開してきた各種サービスにつきましては、メンタルヘルス不調の予防から発症者対応、退職後の復職支援等の領域をカバーしておりましたが、当期より、単なるメンタルヘルスケアに止まらず、組織や個人に対して生産性向上の観点からポジティブサイドのアプローチも行う事業として再定義し、メンタルヘルスケア事業を発展させた「メンタリティマネジメント事業」を推進しております。販売活動の進捗につきましては、従来のメンタルヘルスケアサービスである「アドバンテッジタフネス」について既存商品からの切替え並びに新規顧客の開拓が順調に進展しているほか、前期より販売を開始した採用適性検査「アドバンテッジインサイト」についても導入が進展しております。一方で、ポジティブサイドアプローチへの取り組みのひとつとしての仕事への活力や熱中度などを測定する「エンゲージメント尺度」に基づいたソリューション、「アドバンテッジインサイト」を中心とした採用ソリューション、及びEQ関係サービス、並びに前期より本格展開している中国事業等につきまして、提供サービスの開発・向上に努めており、人的な投資も含め、積極的に投資を実施いたしました。これらの活動により、メンタリティマネジメントの各種サービスの利用者数は、平成24年6月末現在で約87万4千人となっております。

既存及び新規サービス伸長の一方で、サービス拡大に向けた積極的投資の結果、メンタリティマネジメント事業の売上高は359百万円（前年同期比12.8%増）、営業損失は29百万円（前年同期は営業損失16百万円）となりました。

(就業障がい者支援事業)

GLTDの新規顧客に対する販売につきましては、企業ニーズに適切に対応できるように担当企業制を導入し、各種のチャネルを利用しながら、新規顧客の開拓を進めてまいりました。その結果、前期より本格的展開を開始した第4類団体（同一の共通目的をもつ者により組織される会員団体）への導入が進展するなど伸長いたしました。また、GLTDの既存顧客に関しましては、引き続き加入者数増加施策やグループ企業への拡大提案、契約内容の見直しを含めた今後の更なる飛躍に向けた各種の業務改善等を実施いたしました。これらの活動により、GLTDの加入者数は、平成24年6月末現在で約33万人となっております。

新規顧客開拓の進展及び既存顧客の拡大展開に加えて、業務改善等実施の結果、就業障がい者支援事業の売上高は179百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は74百万円（前年同期比75.4%増）となりました。

(リスクファイナンス事業)

当事業におきましては、主に個人を対象として保険を販売しております。当社の成長事業であるメンタリティマネジメント事業ならびに就業障がい者支援事業への経営資源の集中を図るという戦略的な観点から、過年度において当事業の一部譲渡を実施いたしました。当期におきましては、引き続きオペレーション業務の改善やサービスの見直し等、当事業の一層効率的な運営を行うための各種施策を推進しております。

事業の一部譲渡による減収の一方で、人員配置の見直し等による費用圧縮を行った結果、リスクファイナンス事業の売上高は96百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は77百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は前連結会計年度末より155百万円減少し、2,441百万円となりました。流動資産は138百万円減少し、1,298百万円となりました。これは主に、契約者からの保険料の入金条件等により、保険会社の所有物である契約者から領収した保険料にあたる保険代理店勘定が減少したことによるものです。固定

資産は16百万円減少し、1,143百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産が償却により減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末より156百万円減少し、1,287百万円となりました。流動負債は135百万円減少し、1,231百万円となりました。これは主に、一部サービスにおいて、代金回収条件が前受けとなっていることによる前受収益の増加があった一方で、契約者からの保険料の入金条件等により、保険会社の所有物である契約者から領収した保険料にあたる保険料預り金が減少したことによるものです。固定負債は20百万円減少し、56百万円となりました。これは主に、返済により長期借入金が増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末より0百万円増加し、1,154百万円となりました。これは主に、配当の実施の一方で当第1四半期連結累計期間の経営成績の結果により利益剰余金が増加したことによるものです。

なお、保険会社に帰属する保険料で当社の口座に残高のあるものについては、保険代理店勘定及び保険料預り金として対照勘定処理を行っております。これらを除いた場合の自己資本比率は51.4%となります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年5月15日に開示した業績予想に変更はありません。現時点では、企業の景況感に厳しさが続く中、先行きに不透明感はありますが、当初の業績予想に対して概ね順調に推移しているものと考えております。

なお、1株当たり当期純利益につきましては、本資料発表日現在予測可能な株式数の増減を反映させた期中平均株式数を元に算出しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	434,409	630,730
受取手形及び売掛金	464,775	391,856
保険代理店勘定	451,172	196,362
繰延税金資産	50,787	29,556
その他	52,005	49,566
貸倒引当金	△16,267	—
流動資産合計	1,436,882	1,298,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	74,356	74,334
減価償却累計額	△39,446	△41,147
建物及び構築物(純額)	34,910	33,187
工具、器具及び備品	132,891	135,619
減価償却累計額	△100,331	△102,916
工具、器具及び備品(純額)	32,559	32,703
有形固定資産合計	67,470	65,890
無形固定資産		
のれん	626,459	610,657
ソフトウェア	262,292	265,838
ソフトウェア仮勘定	3,099	—
その他	84,469	80,482
無形固定資産合計	976,320	956,978
投資その他の資産		
投資有価証券	3,581	3,581
敷金及び保証金	102,584	102,519
繰延税金資産	6,515	10,857
その他	3,627	20,024
貸倒引当金	—	△16,267
投資その他の資産合計	116,309	120,715
固定資産合計	1,160,100	1,143,583
資産合計	2,596,983	2,441,656

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	170,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	232,586	183,439
未払法人税等	59,865	6,663
前受収益	201,451	385,302
保険料預り金	451,172	196,362
賞与引当金	61,122	38,630
その他	190,285	250,771
流動負債合計	1,366,482	1,231,169
固定負債		
長期借入金	62,850	41,920
資産除去債務	14,196	14,246
固定負債合計	77,046	56,166
負債合計	1,443,529	1,287,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	249,987	252,787
資本剰余金	201,580	204,380
利益剰余金	746,078	742,131
自己株式	△45,599	△45,599
株主資本合計	1,152,046	1,153,699
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,407	621
その他の包括利益累計額合計	1,407	621
純資産合計	1,153,453	1,154,320
負債純資産合計	2,596,983	2,441,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	577,629	635,208
売上原価	131,769	147,076
売上総利益	445,859	488,131
販売費及び一般管理費	452,778	452,264
営業利益又は営業損失(△)	△6,919	35,866
営業外収益		
受取配当金	442	75
その他	134	125
営業外収益合計	576	200
営業外費用		
支払利息	4,040	2,118
営業外費用合計	4,040	2,118
経常利益又は経常損失(△)	△10,383	33,948
特別損失		
減損損失	7,205	—
事務所移転費用引当金繰入額	3,183	—
特別損失合計	10,388	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△20,771	33,948
法人税、住民税及び事業税	97	5,337
法人税等調整額	△1,948	16,889
法人税等合計	△1,850	22,226
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18,921	11,722
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,921	11,722

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△18,921	11,722
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,951	—
為替換算調整勘定	—	△786
その他の包括利益合計	2,951	△786
四半期包括利益	△15,969	10,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15,969	10,936
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	メンタル ヘルスケア事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	318,710	160,776	98,141	577,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	318,710	160,776	98,141	577,629
セグメント利益 又は損失(△)	△16,095	42,761	76,852	103,517

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	103,517
全社費用(注)	△110,437
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△6,919

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

「メンタルヘルスケア事業」において、事務所移転に伴い、当該資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては7,205千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	メンタリティ マネジメント事業	就業障がい者 支援事業	リスクファイナン シング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	359,556	179,445	96,206	635,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	359,556	179,445	96,206	635,208
セグメント利益 又は損失(△)	△29,135	74,990	77,189	123,044

(注) 当第1四半期連結会計期間より従来の「メンタルヘルスケア事業」は「メンタリティマネジメント事業」に名称変更しております。事業の実態により適したセグメント名称への変更であり、これによるセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	123,044
全社費用(注)	△87,178
四半期連結損益計算書の営業利益	35,866

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。